®日本図特許庁(JP)

@爽用新案出願公朋

© 公開実用新案公報 (U)

平3-45250

@Int. Cl. 3

學別記學

庁内整理番号

國公開 平成3年(1991)4月25日

G 11 B 17/26

6743-5D

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全4頁)

母考案の名称 デイスク型記録媒体再生技量の記録媒体移送機構

· 包夹 頤 平1-105480

❷出 顧 平1(1989)9月7日

◎考案者 荒田

忠 男

東京都世田谷区新町2丁目19番3号 タナシン電機株式会

·社内

の出 願 人 タナシン電機株式会社

東京都世田谷区新町2丁目19番3号

四代 理 人 奔哩士 渡部 敏彦

砂実用新案登録請求の範囲

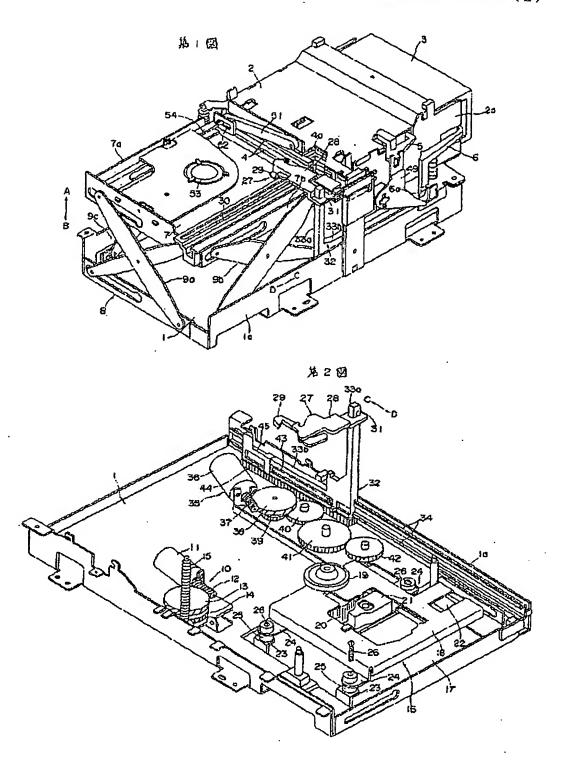
マガジン内に多段に配列収容された複数枚のディスク型記録媒件戦闘トレーの中から、所望のトレーを、個待具支持体にトレー配列方向へ移動りをに張物された類特具に係合させ、前記閣特具に接続した。前記閣特具に係合させ、前記閣特具に接続した。前記は近畿のより、前記録とは、前記では、前記でイスク型記録媒体の移送をは、前記がイスク型記録媒体の移送をは、前記をは、前記をは、前記をは、前記をは、前記をは、前記をは、方向へ連動回転させるものとし、前記認持とで、一方的へ連動回転させるものとし、前記認持具とでは前記複数のピニオンのうちの少なくともでは前記複数のピニオンのうちの少なくともでは前記複数のピニオンのうちの少なくともでは前記複数のピニオンのうちの少なくともでは前記複数のピニオンのうちの少なくともでは前記複数のピニオンの方の少なとを特徴とでは前記をは、

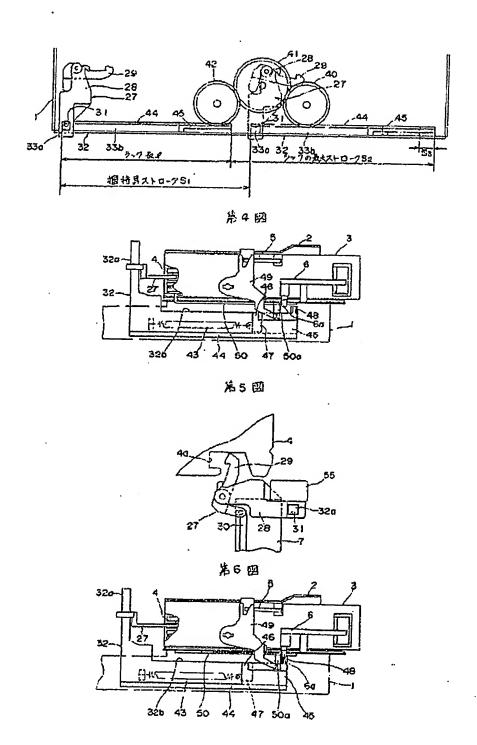
図面の簡単な説明

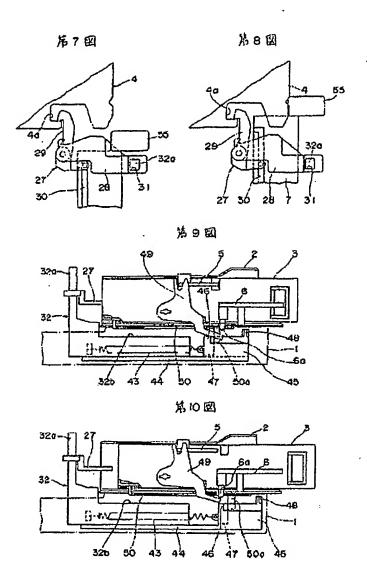
図面は本考案の一実施例を示し、第1図は本考

案の記録媒体移送機構を備えたデイスク型記録媒体再生装置の斜視图、第2回は同野郎の斜視图、第3回は同野郎の斜視图、第3回は同野郎面図、第4回は、第1回の装置の、マガジンを装填した状態の一部切欠側面図、第5回は第4回の装置の展開という。第6回は第1回の装置の、トレーをマガジンから引き出すれた状態の場合の状態の接触の関係がある。第7回回、第9回は第1回の装置の、マガジン収納部に対するマガジンの係止を解除した状態の一部切欠側面図、第1回回は第1回の装置の、マガジン収納部外方へマガジンを押し出した状態の一部切欠側面図である。

3……マガジン、4……トレー、16……再生 模構(再生部)、27……個特具、32……個特 具支持体、40……第1のビニオン、42……第 2のビニオン、44……ラック。







BEST AVAILABLE COPY

美陽平3-45250

【会報種別】実用新変法第55条第2項において専用する特許法第17条の2の規定による補正の掲載 (部門区分】第6部門第4区分 【発行日】平成6年(1994)5月20日

【公開香号】英開平3-45250

【公開日】平成3年(1991)4月25日

【年通号数】公開完用新案公報3-453

【出願香号】実願平1-105480

【国際特許分類第5版】

G118 17/26

8008-50

【実用新案登録語求の範囲を次のように領正する】 (57)実用新案登録請求の新囲

(1) 複数枚のディスク型記録媒体を引出し可能に多段 に配列収容するマガジン3と、このマガジンの記録媒体 引出し側に設けられた再生部16とを具備し、上記マガ ジンに収容された記録媒体を選択的に再生部に移送して 記録情報の再生に供するディスク型記録媒体再生装置に おいて、

上記マガシンの所要の記録媒体収容段と前記再生部との間に亘つて移動可能に設けられてディスク型記録媒体を移送するスライダ32の移動方向に所定の間隔をあけて複数の間径ビニオン40、42を配置すると共に、回転連結機構41にて上記各ビニオンを同一方向に連動回転させ、前記スライダには前記複数のビニオンのうちの少なくとも1つに常時協合するラック44を設けたことを特徴とするディスク型記録媒体再生鉄器の記録媒体移送機構。

(?) マガジンは、複数枚のデイスク型記録媒体を複数のトレイ4に個々に就置して収容するものであつて、スライダはトレイに係合する統領具27を備え、との個簿具に選択的に係合させたトレイを記録媒体収容段と再生部との間で移送してなるととを特徴とする請求項1に記載のデイスク型記録媒体再生装置の記録媒体移送機構。

[図面の簡単な説明を次のように補正する]

図面の簡単な説明

図は本考案の一裏施例を示すもので、第1図は本考案に係る記録媒体特送級帯を備えたデイスク型記録媒体再生禁匿の概略構成を示す斜視図、第2図は同芸匠の関部斜視図、第3図は移送級構の動作概念を示す平面図、第4図は第1図に示す芸匠においてマガンンを装填した状態を示す一部切欠側面図、第5図は第4図に示す抗感の装置における独特具部分を示す平面図である。

また第6図は第1図に示す装置においてトレイをマガジンから引出し可能とした状態を示す一部切欠側面図、第7回は第6回に示す状態の装置における扶持具部分を示す平面図、第8図はトレイがマガジンから引出された状態における抗持具部分を示す平面図。第9図は第1図に示す装置においてマガジン収納部に対するマガジンの係止を解除した状態を示す一部切欠側面図、第10図は第1回に示す装置においてマガジン収納部外方へマガジンを押出した状態を示す一部切欠側面図である。

3……マガジン、4……トレイ、16……再生機構 (再生部)、27……挟持具、32……挟持具支持体 (スライダ)、40……第1のピニオン、41……中間 ギヤ(回転連結機構)、42……第2のピニオン、44 ……ラフク。

[図面を次のように結正する]

